

多高通信

第148号 平成29年11月28日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

鉄道乗車

マナーアップキャンペーン

10月4日・5日の2日間、下馬駅で「鉄道乗車マナーアップキャンペーン」を行いました。

本校からは生徒会執行部と放送部が参加し、下馬駅にてポケットティッシュの配布や構内放送を通して、乗車マナーの向上を呼びかけました。今後も継続的に参加し、貢献していきたいと思えます。



放送部による構内放送



ポケットティッシュの配布

夢ナビライブ2017

10月7日、夢メッセみやぎで行われた「夢ナビライブ2017」(FROMPAGE主催、文部科学省後援)に、1・2年生全員が参加しました。仙台会場での開催が今年で4回目となるこのイベントは、高校生のための大学研究と学問発見を目的とした大規模な合同進学ガイダンスです。

全国から約100の大学が参加し、大学教授による30分の「講義ライブ」と、学問分野の魅力を3分間でプレゼンテーションする「夢ナビTALK」、各大学の入試担当者による「大学個別説明ブース」、学問を320の学問系統からなる「まなびステーション」等が実施されました。

■生徒の感想

○今日は文系と理系両方の講義を受講しました。「日本語教育で気付く日本語」という講義と「AIをたくましく生きる子供たちを育てる」という講義を受講し、この二つの話から、自分が一番学びたい分野は何なのか。また、将来何がしたいのかを確認することができました。「教育」という分野を文系と理系の両方の視点から学び、子供たちに教えらるる教師になれるように、日々の勉強に励みたいと思いました。(1年男子)



○大学の講義ということで「難しいのではないか」と思っていました。が、分かりやすく、とても面白かったです。いろいろな学科の講義を受けて、「やってみたい」と思ったり、新しく興味が湧いたり、有意義な時間を過ごすことができました。改めて将来について考える足がかりができたので、これからたくさん考えて、自分の進路を決めていきたいと思っています。(1年女子)

科学部

サイエンスデイ@多賀城

夏に東北大学で開催された科学イベント「サイエンスデイ2017」に続いて、10月15日、多賀城市で開催された「サイエンスデイ@多賀城」に科学部が参加しました。このイベントは、多賀城市中央公民館が主催し、特定非営利活動法人 natural science が監修し、多賀城工業地帯連絡協議会や国立研究開発法人産業技術総合研究所、宮城県産業技術総合センター、それに多賀城高校が共催として名前を連ねています。



イベントではソニー(株)や理研食品(株)など多賀城市を拠点とする13の団体・企業がそれぞれブースを設けて多くの子供たちを迎えました。私たち科学部は「小学校の「生活・理科」と高校の「理科」は違うの?」をテーマに、物理・化学・地学・生物の4分野から、マジックインクを使った色素抽出や液状化現象など、子供たちが実際に観察し手にとって行える実験プログラムを準備しました。

当日は大勢の家族連れで賑わい、迎え入れた私たち科学部員も大いに楽しむことができました。この科学イベントを通じて、参加した子供たちにとって思いで深い一日になってくれたものと思います。科学的好奇心がもたらす心豊かな社会の創造にむけて、来年も多くの子供たちを科学の世界に導きたいと思っています。



液状化モデルの説明

みやぎ高校生

マナーアップフォーラム2017

10月18日、「みやぎ高校生マナーアップフォーラム2017」が東北歴史博物館を会場に行われました。本校からは生徒会執行部の菊地祐吾さんが、「自分が困っているときのSOSの出し方と困っている友だちとの関わり方」SOSに気づき、ひとりぼっちにしないために」というテーマのワークショップに参加しました。

■菊地祐吾(1年7組 多賀城二中出身)
今回のフォーラムでの活動を通して、知らない人がいる中で意見を出すことの難しさや、1人になることの孤独さなどを体験することができました。このことから、いじめの対策として「言いやすい雰囲気作り」がとても重要だと考えました。日頃から心掛けて生活していきたいと思っています。

生徒会執行部

新体制になりました!

10月26日、「平成29年度生徒会役員委嘱式」が行われました。10月19日の生徒会役員選挙により選ばれた役員たちが、校長先生から委嘱状をいただきました。小畑新会長が「良い意味で今までの壁を壊す」と抱負を述べるなど、どの役員もやる気に満ちあふれている姿が印象的でした。生徒会活動の中心としてリーダーシップを発揮してくれることを期待しています。

また、11月9日には後期生徒総会が行われ、生徒会長の小畑くんの「生徒皆さんの声を聞いて何でもやっていきたい」とのあいさつの後、スマホの使用を控える工夫、また各委員会と執行部が話し合い

の場として執行委員会を機能させることなどが執行部より提案され、話し合いが行われました。

☆新生徒会執行部☆
会長 小畑友哉(2年)
副会長 千葉陽太(2年)
橋本朝良(2年)
会計 清野寧音(2年)
滝口芽愛理(2年)



委嘱状を手に記念撮影

■新生徒会長 小畑友哉

(2年3組 しらかし台中出身)
この度生徒会長になりました小畑友哉です。新体制となり、メンバーがかなり少なくなっていました。が、昨年度よりさらに良い学校づくりをしていきたいと思っています。意見箱などを今まで以上に活用し、生徒の声を反映させることのできる執行部になっていきたいと思っています。

生徒の皆さんのご意見や、生徒会活動へのご協力、よろしく願います!

多賀城市宮内地区

まちびらき植樹祭

10月29日、東日本大震災で多賀城市内最大の津波被害を受け、現地再建を進めてきた宮内地区の復興公園で「まちびらき植樹祭」が開かれ、本校を代表して生徒会執行部の2名が参加しました。



菊地健次郎市長や住民約150人が参加し、公園に建てられた記念碑を除幕した後、地区を囲むように築かれた緩衝緑地に、ニオイヒバやサワラを植樹しました。

■鈴木悠平(2年2組 向洋中出身)

雨の中の植樹祭となりましたが、多賀城市長や地域の方々と交流を深めながらの行事となり、とても充実した時間を過ごせました。また、津波の被害に負けずに地区を再建した地域の方々のつながりの強さも感じる事ができました。これからも本校と地域のつながりを大切にしていきたいと思いました。



祝 吹奏楽部・軽音楽部

2018 信州総文祭出場決定

◎吹奏楽部 みやぎ高校吹奏楽祭

吹奏楽部部長 武田優菜

(2年2組 八乙女中出身)

私達吹奏楽部は、先日行われたみやぎ高校吹奏楽祭の結果、全国高校総合文化祭「2018 信州総文祭」に宮城県代表として出場することが決まりました。

吹奏楽祭は、先輩方から伝統を引き継いだ私たちにとって最初のステージでした。それまでは、マーチングメンバーとコンクールメンバーでは別メニューで練習をしてきたため、部員の中で少し距離を感じるときが何度かありました。しかし、吹奏楽祭に向けて全員で集まって練習をしていく中で、部活が一つにまとまっていったように感じました。また、「聴いている方々へ感動を与えられるような演奏をして絶対に信州総文祭に行こう」という強い気持ちを全員で共有したことで、高いモチベーションのまま本番を迎えられたのだと思います。

今回演奏した曲は吹奏楽の曲の中でも難易度の高い「華麗なる舞曲」でした。本当に難しく、練習しても練習しても満足いかないところが、私たちに更なるやる気を与えてくれました。本番の演奏は、今まで作ってきたサウンドと全員で共有してきた音楽表現が一体となり、今までで一番良い演奏ができたと思います。

信州総文祭では、多賀城高校吹奏楽部らしい明るくパワフルな演奏で、全国の皆様に笑顔と感動を届けたいと思います。今後とも、応援よろしく願っています。

◎軽音楽部 新人大会グランプリ

11月3日、デジタルアー

ツ仙台で宮城県高等学校対抗バンド合戦新人大会が行われ、2年生バンド Windon Crew(ウインダム・クルー)がグランプリを受賞しました。昨年度に引き続き、本校の新人戦2連覇となりました。



今大会は、来年度に長野で行われる全国高校総合文化祭「2018 信州総文祭」軽音楽部門の選考会も兼ねており、宮城県代表として出場することが決定しました。

■鈴木陽菜(2年6組 塩竈一中出身)

私は今年の夏のみやぎ総文で「全国」というものを目の当たりにしました。全国から集まった各県を代表するバンドの方々はあまりにも輝いていて、驚き、感動しました。そして私たちはこの「全国」を目標とすることに決めました。今回演奏したオリジナル曲「狂想」は、全国でも戦えるよう、私たちの個性を前面に出そうと考えて制作した曲でした。



全国大会への想いを詰めこんだこの曲でグランプリを受賞し、来年の夏、長野の信州総文に宮城県代表として出場します。あの時感じた驚きと感動を、次は私たちが届ける番です。さらに個々の演奏技術や表現力、曲のクオリティを向上させ、来年の夏には、多賀城高校軽音楽部の名に恥じない演奏でグランプリを受賞できるよう、日々の練習に励んでいきたいです。

水泳部 東北大会報告

■阿部 夏

(2年6組 宮教大附属中出身)

県新人では2名4種目で決勝に進出し、表彰台に乗る選手もいました。東北大会では自己ベストを更新することはできませんでしたが、速い選手の泳ぎを見て、新しい学びを得ることができました。次の大会に向けて、また頑張りたいと思います！



文科省研究指定 E-School

特色ある学校づくり

公開授業を行いました

多くの先生方にお越しいただきました



10月30日、本校が文部科学省より指定を受けている「次世代の教育情報化推進事業(E-School)」および「外部講師活用事業(特色ある学校づくり)」に係る授業公開を行いました。本校がこれまで行っ

てきた授業改善の一つの手段であるアクティブ・ラーニング型授業や、ICTを活用した授業を見ていただき、次期学習指導要領の方向性を見据えた授業改善のヒントを得ていただけたのではないかと思います。



宮教大・安藤准教授の講演

当日は、宮城教育大学准教授安藤明伸先生をはじめ、40名以上の先生方にお越し頂きました。ありがとうございました。

多賀城市総合防災訓練

ツイッターからの報告をもとに、本部が被害状況をまとめます。



11月5日、多賀城市総合防災訓練が行われ、本校から防災委員が参加しました。

■小角神月

(1年7組 高崎中出身)

私たちは多賀城高校生は、ツイッターを利用した避難経路の報告を行いました。いろいろな場所の情報を写真や動画で把握することで、多賀城市内の「今」の情報をツイッターによって知ることができ、訓練を円滑に進めることができました。

全国高校生防災サミット2017 防災フォーラム in 三条

11月10日、新潟県

立新潟県立工業高等学校で行われた「全国高校生防災サミット2017」に参加してきました。



ワークショップの成果発表会

新潟県立工業高校・三条商業高校・加茂農林高校で設立したNPO法人トライ・フューチャーが主催したもので、今回のサミットには、本校のほか、兵庫県立舞子高校、新潟県立柏崎工業高校が招待されて、「新潟地方気象台によるワークショップ」や「各校における防災活動紹介」「記念講演会」、各校生徒がパネラーと

なった「パネルディスカッション」を行いました。また、交流会も行われ、防災だけでなく、友情の輪も広げることができました。翌11日には、三条市水防学習館において、「防災フォーラム in 三条」に参加しました。その後、三条商業高校の生徒さんのガイドで「弥彦神社」「信濃川大河津資料館」を訪れました。

■尾川彩佳(2年2組 高崎中出身)

私は、今まで災害というと地震・津波など自分の地域のことしか頭になかったのですが、他の地域へ訪問することで異なった災害に目を向けるきっかけとなりました。新潟県は昔から信濃川の氾濫により多くの被害を受けおり、今では年4回避難訓練をしているそうです。とても意識が高いと思いました。しかし、被害を受けた地域と受けなかった地域とは、危機感の違いがあり、避難する・しないが分かれてしまっていることでした。被害の有無に関係なく避難することが今後の課題のようで、これは私たちにも言えることだと思いました。



防災フォーラムでの本校の発表

今回の訪問は、学ぶことが多く、とても良い経験になりました。

1学年 社会人講話

11月14日、1学年総合学習「社会人講話」を実施しました。この行事は、生徒が様々な分野で活躍する社会人から直接話を聞き、また対話を通して、今後の進路選択や生き方について考え、社会観・職業観・人生観の構築の一助とすることを目的としています。今年度も昨年度に引き続きNPO法人ハーベストの全面協力のもと、27名の社会人講師を招き、各講座10名前後の少人数グループに分かれて講師と生徒が近い距離で話し合うスタイルで行われました。生徒たちはそれぞれ2講座ずつ受講し、講師の話に共感したり新たな発見をしたり、多くの刺激を受けたようです。

